

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2013年 3月 臨時号 No.226

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

<http://www.hhk.jp/>



北阪神支部長 中井 通治

宝塚市長選挙

市民のいのちと健康、 暮らしを守る市政を

～ 中川ともこさんを推薦します～

4月14日に投開票される宝塚市長選挙において、北阪神支部として、市民のいのちと健康、暮らしを守る市政の実現を目指し、中川ともこ氏を支持・推薦することが3月7日の支部幹事会で確認されました。

保険医協会では党派選挙で特定政党を支持することはありませんが、自治体首長選挙で政策がわれわれ開業医師・歯科医師の要求と一致する場合には、民主的討議を通じ、支持を明らかにしてきました。

2009年4月、前市長が収賄容疑で逮捕され辞職したことに伴う市長選挙で初当選して以降、1期目の市政では、汚職防止と市民の目に見える市政に取り組み、また無駄な公共事業を削る一方で、地域の活性化や、いのちと暮らしを守る施策、子育て支援などにきめ細かに取り組み、市の財政も大きく改善しました。

とくに医療・社会保障の面では、宝塚市立病院を診療面、財政面、医師の人員体制の面でも大幅に改善、国の先行で子宮頸がんワクチン助成を創設、国保の資格証明書発行はゼロ、乳幼児医療の独自の上乗せなど充実が図られています。

阪神大震災の多くの被災者が移り住んだ「借り上げ復興住宅」が入居期限を迎える問題においても、宝塚市はいち早く、すべての希望世帯で入居期限の延長を認めることを決めました。

対立候補には現在、維新の会から多田浩一郎市議、収賄容疑で逮捕された元市長の渡部完氏が挙がっていますが、維新の会は国政レベルにおいても骨太の政策に「混合診療の解禁」を掲げるなど、国民皆保険制度を守る立場として到底容認できるものではありません。

北阪神支部は、中川ともこ氏に2期目においてもさらなる医療・社会保障の充実を目指した政策の実現を期待します。

支部会員の先生におかれましては、是非ご支援賜りますようお願い申し上げます。